

令和4年3月15日

那須烏山市議会議長 渋井由放 様

総務企画常任委員会委員長 相馬正典

予算審査結果報告書

本委員会に令和4年3月7日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 令和4年3月8日（火）及び9日（水）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第一委員会室
- 3 出席委員 相馬正典、福田長弘、荒井浩二、田島信二、高田悦男
- 4 説明のための出席者
会計管理者兼会計課長 澤村誠一、総合政策課長 菊池義夫、まちづくり課長
大谷光幸、総務課長 佐藤博樹、税務課長 高濱裕子、議会事務局長
菊地唯一、他関係職員
- 5 審査事項
本委員会の所管する総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会の令和4年度那須烏山市の一般会計及び特別会計歳入歳出予算
- 6 審査結果
本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の予算については、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

総務課

- ・公務員の定年延長については、今後は、60歳で管理監督の職務を退く役職定年制に移行し、10年かけて段階的に定年が延長となり、最終的に令和15年度に定年が65歳となる。国家公務員や周辺自治体と差が出ないよう情報収集に努め、遺漏のないようにされたい。

- ・心身ともに不調を訴える職員のために、健康管理の一環としてストレスチェックや健康診断などによる、心と体両方の面から職員の病気の早期発見に向け取り組まれない。
- ・本市の貴重な財産である市有林については、現状を把握し予算措置を含め適切な管理・整備に努められたい。

まちづくり課

- ・昨年から市内において問題視されている土砂の不法投棄については、市民の生命と安全を守る観点から顧問弁護士に相談し助言等を受けながら早期の問題解決に向けた対策に取り組まれない。
- ・令和2年度をもって廃止された住宅リフォーム助成金制度については、市民生活の改善及び新型コロナウイルス感染症による影響で低迷する市内中小企業、施工業者の一助となりうる。再び助成金制度の創設に向けて検討されたい。
- ・JR烏山線開業100周年記念事業については、100年に一度の重要な節目となることから、予算を確保し市民一体となったイベントの実施を検討されたい。

総合政策課

- ・ふるさと応援寄附金については、経費の削減とこれまで以上に品目を増やすなど工夫を凝らし、本市への寄附の確保に努め、総合的に本市の魅力を全国に発信して広報の一端を担うよう制度の活用を図られたい。
- ・マイナンバーカードについては、コンビニ等で証明書交付サービスが利用可能になることや保険証として使うことが出来るなど取得するメリットを市民に周知徹底し、普及促進に努められたい。
- ・システムにかかる費用が年々増加傾向にある。現在、デジタル庁が主導する自治体DX推進計画が進められており、従来よりシステムの構築や導入に多額の費用がかかっている。システムを十分に理解し効率的な運用を図られたい。また、市民のニーズに合ったサービスの展開と市民の負担軽減に努め、これにより誰一人取り残される市民が現れないよう配慮されたい。

税務課

- ・大口滞納については、現在、公売による滞納処分を実施しているところである。令和4年度も引き続き厳正かつ毅然とした対応を図られたい。
- ・若年層のe-Taxによる電子納付・申告が増えている。これを全年齢層に浸透させ、市民の利便性向上と職員の負担軽減を図られたい。

会計課

- ・市民のニーズに合わせ、ICT技術を活用しキャッシュレス決済に対応することで職員の業務量削減と市民の利用向上に努められたい。